



名古屋銀行

Bank of
NAGOYA

地域のお客さまとともに進める 名古屋銀行のカーボンニュートラルに 向けた取り組み

2023年12月21日

名古屋銀行の概要（2023年3月31日現在）

名称	株式会社名古屋銀行
所在地	名古屋市中区錦三丁目19番17号
設立	1949年2月24日
総資産（連結）	5兆982億円
貸出金	3兆6,324億円
有価証券	8,805億円
預金等※	4兆3,621億円
資本金	250億円
従業員数	1,850名

※預金等 = 預金 + 譲渡性預金



第22次経営計画 未来創造業の真価の発揮 2023年4月～2031年3月

未来創造業宣言

私たちは「未来創造業」です。

私たちは、
法人のお客さまと **会社の発展につながる未来** を創ります。
個人のお客さまと **家族の幸せにつながる未来** を創ります。
そして、私たちはお客さまと自分の未来のために一生懸命に仕事をします。

銀行業から未来創造業へ 私たちは歩み続けます



Mission

使命、目的、経営理念
果たすべきこと



地域社会の繁栄に奉仕する
これが銀行の発展と行員の幸福を
併せもたらすものである

Vision

中長期的な目標
理想像・なりたい姿
なしでいたい未来



Value

行動指針、判断基準
大切にしている価値

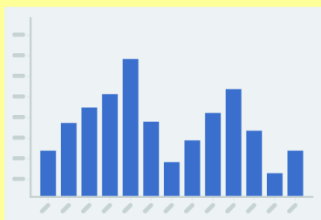
- 1 よいサービス
誠意があふれ、行き届いた、スピーディなサービス
- 2 よい人
人を高め、人を厚くし、明るい職場をつくる
- 3 よい経営
健全で、創意に富んだ、全員参加の経営

未来創造業
パーパス

Purpose

存在意義

取引先企業へのカーボンニュートラル支援



**CO2排出量
算定**



**削減計画の
策定支援**

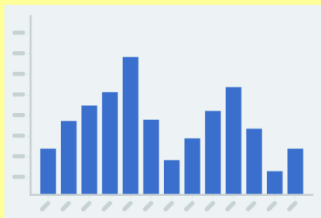


**地域への
カーボン
オフセット**

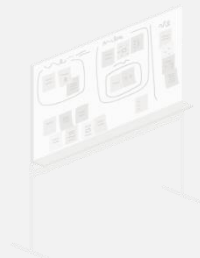


啓発セミナー

取引先企業へのカーボンニュートラル支援



**CO2排出量
算定**



**削減計画の
策定支援**



**地域への
カーボン
オフセット**



啓発セミナー

名古屋銀行のカーボンニュートラルに向けた取組み

カーボンニュートラル宣言策定支援コンサルティング

株式会社 ●●●●

当社は国が提唱する2050年カーボンニュートラルの実現に賛同し、カーボンニュートラル達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2023年4月
代表取締役 ●●●●

カーボンニュートラル達成に向けた取組み

エネルギー消費量の削減

エネルギーの低炭素化

利用エネルギーの転換

【株式会社 ●●●● CO2排出量目標】

2030年までに2022年を基準年としてCO2排出量42.0%減を達成し、2050年にはカーボンニュートラルを実現する。

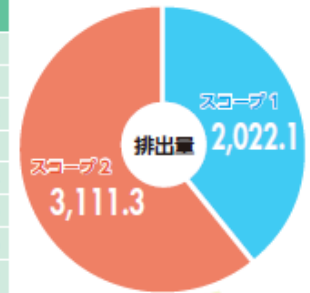
株式会社 ●●●● CO2排出量 (t-CO2e)

年	排出量 (t-CO2e)
基準年 (2022年)	128.5
2030年	75.5
2050年	0

CO2 排出量算定と削減目標

① 算定結果

運営部門	活動	排出源	排出量 (T-CO2E)	排出割合 (%)
スコープ1	事業活動	A重油	1,745.2	34.0
		都市ガス	260.6	5.1
	輸送関係	ガソリン	8.9	0.2
		軽油	7.4	0.1
	合計		2,022.1	39.4
スコープ2	購入電力の使用	電力	3,111.3	60.6
	合計		3,111.3	60.6
スコープ1+2			5,133.4	100.0



② 排出量削減目標

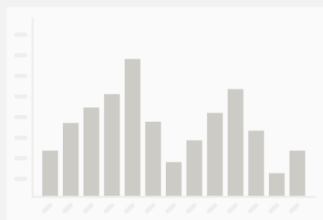
スコープ1およびスコープ2について、2030年までに2020年を基準年として42.0%削減する。

※設定した目標水準は、SBTIの1.5℃目標に整合している。

③ 排出量削減推移

	基準年 2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標年 2030
排出量	5,133.4	4,917.8	4,702.2	4,486.6	4,271.0	4,055.4	3,839.8	3,624.2	3,408.6	3,193.0	2,977.4
削減率	0.0%	4.2%	8.4%	12.6%	16.8%	21.0%	25.2%	29.4%	33.6%	37.8%	42.0%

取引先企業へのカーボンニュートラル支援



CO2排出量
算定



削減計画の
策定支援



地域への
カーボン
オフセット



啓発セミナー

名古屋銀行のカーボンニュートラルに向けた取組み

SBT 認証取得支援



企業に科学的根拠に基づいたパリ協定水準での温室効果ガス削減目標の設定をし、排出量削減を推進する目的で設立。

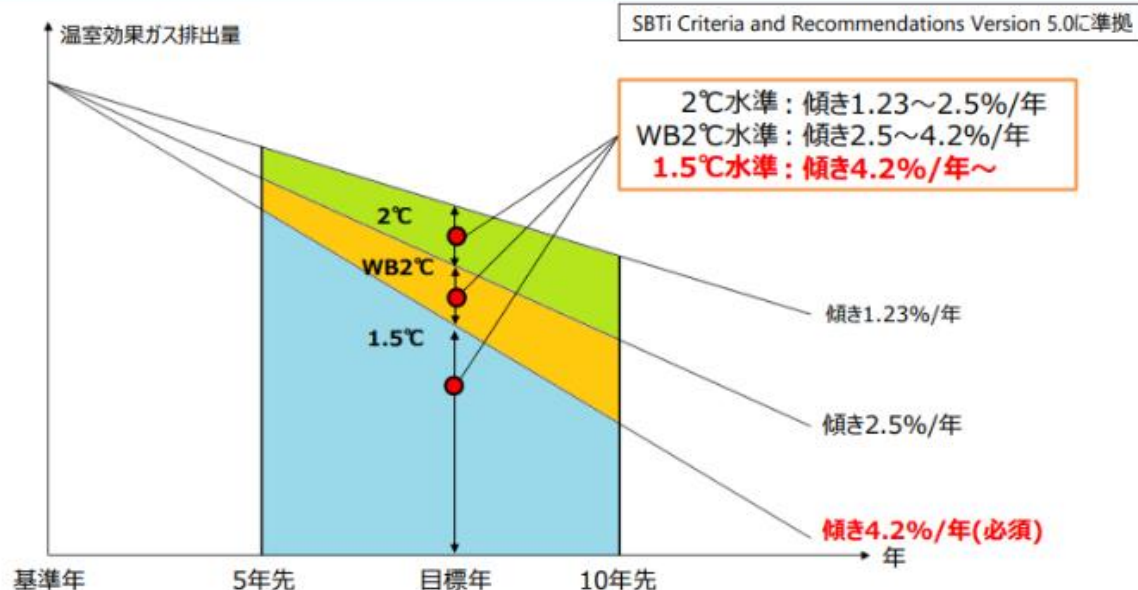
※CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)が運営

SBT (Near-term SBT) のイメージ



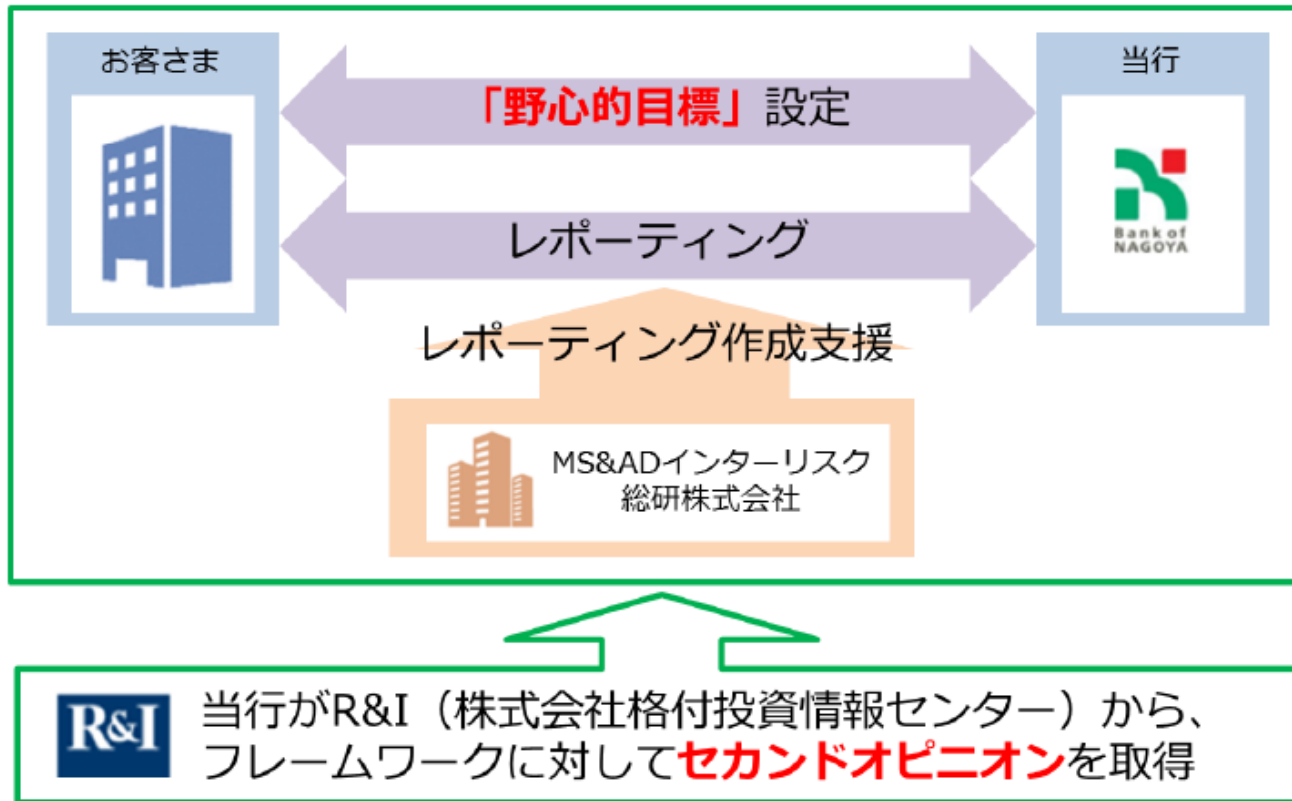
- 4.2%/年以上の削減を目安として、5年～10年先の目標を設定する

※本資料中においては、特段の注記のない場合にはSBT=Near-term SBTとして記載する



名古屋銀行のカーボンニュートラルに向けた取組み

めいぎんサステナビリティ・リンク・ローン



国際基準の高い削減目標

目標達成時には金利引き下げ

めいぎんサステナビリティ・リンク・ローン

**野心的な定量目標
(達成すれば金利引き下げ)**

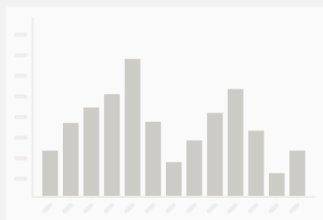
SPTs

(サステナビリティ・パフォーマンスターゲット)

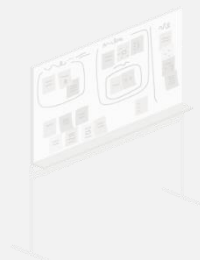
KPI

- ① エネルギー効率
- ② 温室効果ガス排出
- ③ 再生可能エネルギー

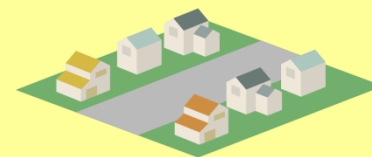
取引先企業へのカーボンニュートラル支援



CO2排出量
算定



削減計画の
策定支援



地域への
カーボン
オフセット



啓発セミナー

名古屋銀行のカーボンニュートラルに向けた取組み

愛知県とカーボン・オフセットに関する連携・協力の覚書締結

目的

「あいち地球温暖化防止戦略 2030（改定版）～カーボンニュートラルあいちの実現に向けて～」の達成を目指す

連携・協力内容

愛知県が実施する事業や所有する施設から排出される温室効果ガスのカーボン・オフセットに関すること

2023年9月 愛知県環境局との締結式



名古屋銀行のカーボンニュートラルに向けた取組み

地産地消カーボンオフセット型私募債



CO₂削減の価値を
愛知県内で循環

お客さまとともに
県の脱炭素に貢献

東海地区地方銀行
初の取組み

名古屋銀行のカーボンニュートラルに向けた取組み

CARBON OFFSET

カーボン・オフセット証明書

Certificate Of Carbon Offset

愛知県 環境局 地球温暖化対策課 様

カーボン・オフセット業務を完了しましたので、
以下の通り証明いたします。

オフセットの対象 <i>Subject of carbon offset</i>	12月21日開催「あいち地球温暖化対策フォーラム」に ともなうCO2排出量(運営者・参加者の移動、会場の 電力・エネルギー使用)全量のカーボン・オフセット
オフセット量 <i>Quantity of carbon</i>	1t-CO2
クレジット種別 <i>Type of the credit</i>	J-クレジット
クレジット名称 <i>Name of the credit</i>	中部産 CO2 クレジット
償却完了日 <i>Date of defeasance</i>	2023年12月15日
シリアルナンバー <i>Serial number</i>	JCL-400-000-004-867-685

2023年12月15日発行



Cooperation Certificate カーボン・オフセット 協力証明書 *Carbon Offset*

愛知商事株式会社様

貴社は、名古屋銀行「地産地消カーボンオフセット型
私募債」の発行を通じ、愛知県主催のイベント、保有
施設のCO2排出量のオフセット(埋め合わせ)に協力し、
愛知県のカーボンニュートラルへ貢献したことを証明
いたします。

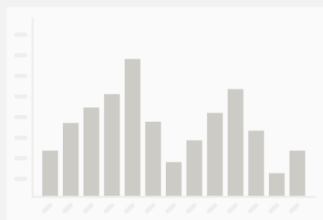
15 t - CO2

オフセット協力量(概算)

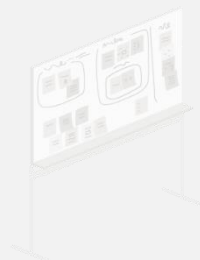


2023年12月1日発行

取引先企業へのカーボンニュートラル支援



CO2排出量
算定



削減計画の
策定支援



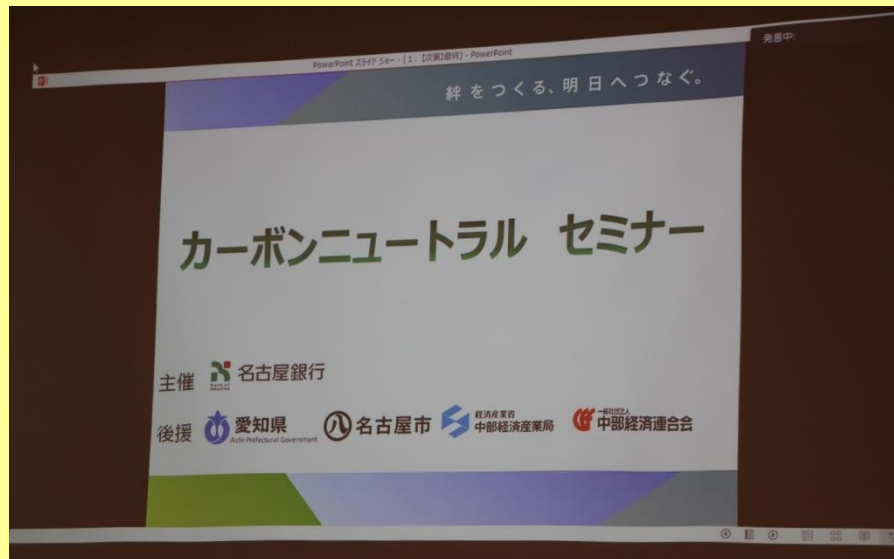
地域への
カーボン
オフセット



啓発セミナー

名古屋銀行のカーボンニュートラルに向けた取組み

カーボンニュートラルセミナー



2021年8月24日

◆主催
名古屋銀行

◆後援
愛知県・名古屋市・中部経済産業局
中部経済連合会



名古屋銀行のカーボンニュートラルに向けた取組み

カーボンニュートラルセミナー

2022年5月23日

◆共催

豊田商工会議所・豊田信用金庫
名古屋銀行

◆講演

愛知県環境局地球温暖化対策課 他



2022年6月7日

◆主催

安城商工会議所

◆共催

安城市・碧海信用金庫・名古屋銀行

◆講演

愛知県環境局地球温暖化対策課 他

未来創造業宣言

私たちは『未来創造業』です。

私たちは、

法人のお客さまと **会社の発展につながる未来** を創ります。

個人のお客さまと **家族の幸せにつながる未来** を創ります。

そして、私たちはお客さまと自分の未来のために一生懸命に仕事をします。

銀行業から未来創造業へ 私たちは歩み続けます



ご清聴ありがとうございました